



# おしえて、カスタム君！ 税関のしごと

## 税関ってどんなところ？

日本は世界のたくさんの国と貿易をしています。貿易をするときには、守らなければならないルールがあります。

税関は、日本各地の港や空港にあって、ルールを守って正しく貿易が行われるように、輸出や輸入をする貨物のチェック（審査や検査）を行っています。  
貨物の中に禁止されている物が隠されていないか、麻薬探知犬やエックス線検査装置などを使った検査もしています。

税関の仕事には、大きく分けて、「税」に関する仕事と「関」に関する仕事があります。



「税」：外国から輸入される貨物を日本へ持ち込むときに、関税や消費税などの税金を集める仕事。  
税関は、財務省に属する役所なのです。

「関」：外国へ貨物を輸出入するときに書類をチェックしたり、貨物を検査したりして、麻薬やけん銃、偽ブランド品や絶滅のおそれのある動植物が密輸されないように取り締まる仕事。  
江戸時代の「関所」のような役目があります。



具体的に、どんなことをしているんだろう？

ぼくが税関の仕事を体験してきたので、皆さんに紹介するね！

「輸出入通関」 「旅具通関」 「監視取締り」  
「保税」 「事後調査」

## 輸出・輸入通関の仕事

税関は、正しく貿易が行われるように、輸出や輸入をする貨物の書類審査や検査をして、問題が無ければ輸出や輸入の許可をします。これを通関といいます。麻薬やけん銃などが日本に持ち込まれないよう、また、関税や消費税などの税金が正しく納められるように、しっかりチェックしています。



「通関」は、税関を  
通って書くんだね。

## 旅具通関

海外旅行者の手荷物やお土産も通関手続きが必要です。空港や港の税関検査場では、麻薬やけん銃、本物をまねて作られた「偽ブランド品（コピー商品）」、絶滅しそうな動植物などが、こっそり日本に持ち込まれることのないよう検査しています。また、お土産などにかかる税金を納めてもらっています。



## かんしとりしま 監視取締り

おも みなと がいこく く ふね なか けんさ けんもん じょうりく せんいん てにもつ  
主に 港で、外国から来る船の中を検査したり、検問して上陸した船員などの手荷物を  
けんさ まやく けん じゅう かく がく にん しごと  
検査して麻薬やけん銃などが隠されていないか確認する仕事などを行っています。船でパ  
トロールもしています。



## ほぜい 保税

ぜいかん ゆにゆう きよか まえ かもつ がいこく ゆしゆつ かもつ いちじてき せんよう そうこ  
税関が輸入を許可する前の貨物や外国へ輸出しようとする貨物は、一時的に専用の倉庫  
などに置かれます。(保税地域といいます)

ぜいかん そうこ かもつ かんり あや かもつ かくにん  
税関は、これらの倉庫で貨物がきちんと管理されているか、怪しい貨物はないかを確認  
しています。



ほぜい ぜいきん ほりゆう  
「保税」は、税金を保留  
するっていう意味だよ。



## 事後調査

税関の仕事は、輸出や輸入を許可して終わりではありません。  
貨物が輸入された後、輸入者の会社（事業所）を訪問して、関税や消費税などの税金が  
正しく納められているかどうか確認する仕事もしています。



どれもすごく大切な仕事なので、ちょっぴり緊張しちゃいました。

税関職員といえば、ぼくのような麻薬探知犬と一緒に  
仕事をしている姿が思い浮かぶかもしれないけど、  
税関にはいろいろな仕事があって、正しい貿易のために  
一生懸命働いているんだ。